

## 化学肥料低減計画書

**作付概要**

作物名	作付面積 (ha)
水稻	20
キャベツ	3
その他	
計	23

秋用肥料	春用肥料	年間
○		

注: 該当するものに○を付けること

氏名(法人・組織名) 大崎 太郎

住所 曾於郡大崎町○○○

電話番号 099-○○○-△△△△

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。  
 2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組の欄に「○」、従来の取組の強化・拡大に「○」を記入してください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組		
		継続する取組	新たな取組	取組の強化・拡大
ア 土壌診断による施肥設計			○	
イ 生育診断による施肥設計	○	○		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入				
エ 堆肥の利用				
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)				
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)				
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用				
ク 緑肥作物の利用				
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用				
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用				
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)				
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用				
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用				
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)				
ソ 地域特認技術の利用( )				

「令和4年度又は令和5年度の取組」欄に2つ以上の○が付けばOKです。既に取組んでいるものもカウントできます。(その場合)、一つ以上は新しい取組、従来の取組強化・拡大を含むように記載してください

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

**令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。**

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 大崎 太郎

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。  
 なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。